

英語科 学習指導案

日時 2022年6月10日(金)第1時限

場所 第2学年2組教室

学年・組 第2学年2組(32名)

指導教諭

授業者

1. 単元(題材)名

Unit3-2 My Future Job (不定詞)(使用図書は、教科書:NEW HORIZON 2)

2. 単元(題材)の目標

これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える。

自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。

3. 教材観

本単元では、メグがインターネットでAIに関する記事に興味を持った場面から始まる。朝美とメグが将来の職業について話し、朝美の職業体験についてのレポートが続く。言語材料として不定詞(副詞的用法・形容詞的用法)及びit is ... + to + 動詞の原形の構文が扱われている。未来の職業というテーマは、将来について考える機会を与え、それについて不定詞を使い相手に説明するのに適している。

4. 生徒観

2年2組は、男子15名、女子17名の32人学級である。学習に対して苦手意識のある生徒もいるが、何事に対してもみんなで協力して取り組もうとする意欲的な生徒が多い。発音練習や発表の場面でも、積極的に声を出す前向きな雰囲気のあるクラスである。

5. 指導観

既習内容の復習から行い、新しい内容にスムーズに入れるようにする。本単元で中心となっている副詞的用法の不定詞の文は、感情の原因を表すために使われる表現であるため、実際の日常生活の中で感じたことに置き換えて表現することで、知識の定着を図る。また、ペアワークや班活動を多くすることで、生徒たちで考える能力を養うことを目指したい。

6. 単元(題材)の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識]不定詞を用いた文の意味を理解している。 [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに、職業について話された対話の内容を聞き取る技能を身につけている。	職業についてよく知るために、仕事の内容をなどについて話された対話の概要を捉えている。	職業についてよく知るために、仕事の内容をなどについて話された対話の概要を捉えようとしている。
読むこと	[知識]不定詞を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに、大切だと思うことや、すべきことなどについて書かれた文章を読み取る技能を身につけている。	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて書かれた文章の概要を捉えている。	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて書かれた文章の概要を捉えようとしている。

話すこと (やりとり)	〔知識〕不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕不定詞を用いた文の理解をもとに、おたがいの夢について、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	おたがいの夢を知るために、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。	おたがいの夢を知るために、夢実現のためにしていることなどの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合おうとしている。
話すこと 〔発表〕	〔知識〕不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕不定詞を用いた文の理解をもとに、夢実現のためにしていることや、職業について情報を整理して説明する技能を身につけている。	自分の体験を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理して、簡単な語句や文を用いて話している。	自分の体験を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理して、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
書くこと	〔知識〕不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕不定詞を用いた文の理解をもとに、大切だと思うことなどについて、すべき事などを整理して、書く技能を身につけている。	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて書いている。	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

7. 指導計画

時	学習内容
第1時	・目的を表す副詞的用法の不定詞について知る。 ・目的を表す副詞的用法の不定詞が使われた英文から、動作や行為の目的を読み取る。
第2時 本時	・原因を表す副詞的用法の不定詞について知る。 ・原因を表す副詞的用法の不定詞の練習問題をやる。
第3時	・原因を表す副詞的用法の不定詞が使われた英文から、うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を読み取る。
第4時	・おたがいの夢を知るために、夢実現の為にしていることなどについての情報を整理して伝え合う方法を考える。
第5時	・形容詞的用法の不定詞について知る。 ・形容詞的用法の不定詞の練習問題をやる。
第6時	・形容詞的用法の不定詞が使われた英文から、物事について書かれた文章の概要を読み取り、情報を加えて説明する。
第7時	・it is … + to + 動詞の原形の構文について知る。 ・it is … + to + 動詞の原形の構文の練習問題をやる。
第8時	・it is … + to + 動詞の原形の構文が使われた英文から、夢について考えるために、すべきことなどを読み取る。

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を、理解したり伝えたりすることができる。

(2) 本時の評価基準

- ①不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。
正しい単語の意味・用法を理解している。【知識・技能】
- ②例文を参考にし、英文を推測している。【思考・判断・表現】
- ③不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、使おうとしている。
正しい単語の意味・用法を理解し、使おうとしている。
自分の考えを相手に伝えようとしている。【主体的に取り組む態度】

(3) 本時の学習過程

時間	学習内容と活動	指導上の留意点	評価基準
導入 5分	1, 挨拶 日付や曜日、天気を言う。	・日付や曜日、天気が言えるようになるだけでなく、正しく書けるかどうか確認する。	
展開 ① 7分	〈単語の確認〉 2, みんなで確認(先生→生徒) (英語→日本語) 3, 生徒だけで確認 (英語→日本語) (日本語→英語) 4, ペアで最終確認	・正しく丁寧に発音する。 ・生徒の様子を確認し、練習する回数を調節する。 ・全員がきちんと意味を理解し、発音できているかどうか巡回し確認する。	【主体的に取り組む態度】 正しい単語の意味・用法を理解し、使おうとしている。 (行動観察)
展開 ② 18分	〈文法〉 5, 復習 出された日本語を英語にする。 6, 今日の目標を知る。 7, 不定詞(感情の原因を表す副詞的用法)の使い方を例文から知る。 8, 2問の練習問題をペアで相談して考える。	[パワーポイント] ・既習内容を思い出させる。 ・既習内容からどう変化しているか気付かせ、副詞的用法の不定詞の使い方を教える。 ・日本語や絵の情報から、生徒同士でどう英語にするのかを考えさせる。	
			【知識・技能】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【主体的に取り組む態度】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、使おうとしている。 (行動観察)

展開 ③ 15分	9, Let's try !をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・例文を参考に、班で考え正しく表現させる。 →感情の原因を表す副詞的用法の不定詞を使うところに着目させる。 →いくつかの班に発表してもらおう。 →他の班の生徒が日本語訳する。 	<p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、使おうとしている。 ・自分の考えを相手に伝えようとしている。(行動観察)
	10, ノートを取る。		
	11, プリントの問題を解く。 一人で解く 班で解く 答え合わせをする。	<p>[プリント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは一人で考えさせ、自分の分からないところを見つけさせる。 ・前で見つけた分からないところの理解を班で協力し、解決させる。 →協力する際は、答えではなく、ヒントを教えあうように促す。 →早く終わった班は、Expressionの内容を発表させ合う。 ・順番に当てていき、つまずいたら他の生徒の助けを求めさせる。 ・難しい問題は丁寧に解説する。 →答えがわかった生徒に解説させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(プリント) <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、使おうとしている。(行動観察)
まとめ 5分	12, ふり返りを書く。		

板書案

ノート

不定詞 (原因を表す副詞的用法)

to + 動詞の原形 「・・・して」 (感情の原因を表す)

★不定詞の位置は感情語のあと

happy, glad, sad, angry,
surprised, sorry

I am surprised (to)(see) this.

「私はこれを見てびっくりする。」

Unit3-2 不定詞 (原因を表す副詞的用法) 「…して」

Class () No()

Name()

(1)私はあなたに会えてうれしい。

I am (glad / sad / surprised)to meet you.

(2)彼女はその話を聞いて悲しそうに見えた。

She looked (glad / sad / surprised)to hear the story.

(3)彼はその知らせを聞いたら喜ぶだろう。

He will be () to hear the news

(4)私はその知らせを聞いて残念に思う。

I feel () to ()the news.

(5)私はその部屋で彼女を見つけて驚いた。

I was ()()() her in the room.

(6)私はあなたに会えて驚いた。

(surprised / see / I / you / was / to / .)

(7)私はその映画を見てわくわくした。

(watch / the movie / I was / to / excited / .)

(8)その手紙を読んだら彼女はショックを受けるだろう。

(the letter / she / be / shocked / to / will / read / .)

Expression

◇自分が最近驚いたことを想像し、「…して驚いた。」という文を作りましょう。

(ex)I was surprised to find the old book.

◆振り返り◆

		分かった				分からない
		←	—————			→
<u>内容理解度</u>	5	4	3	2	1	

